

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	武豊火力発電所5号機 土建工事(予備品・資材倉庫)	階数	地上1階
建設地	愛知県知多郡武豊町字竜宮1番地1 他14筆	構造	S造
用途地域	工業専用地域、防火指定無し(法22条地域)	平均居住人員	0人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年3月 予定	評価の実施日	2019年9月25日
敷地面積	38,662 m <sup>2</sup>	作成者	近藤瑞穂
建築面積	3,379 m <sup>2</sup>	確認日	2019年10月9日
延床面積	3,379 m <sup>2</sup>	確認者	伊藤昇

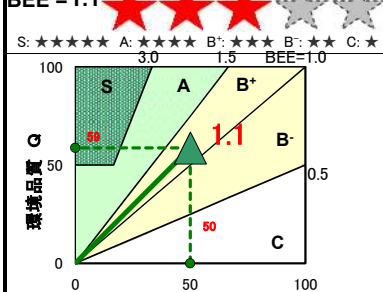


西側立面図

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.1**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★



### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>温暖化影響チャート

標準計算

①参照値 100%

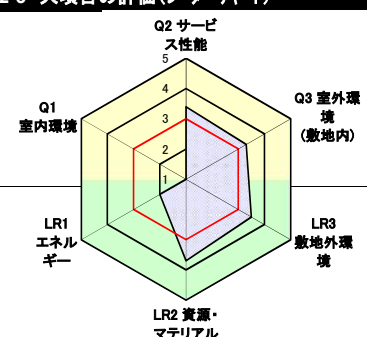
②建築物の取組み

③上記+②以外の

④上記+

(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)




### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 3.3

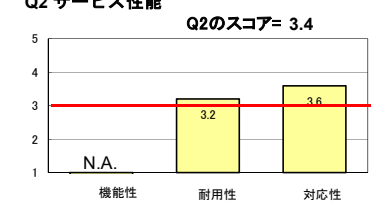
#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0



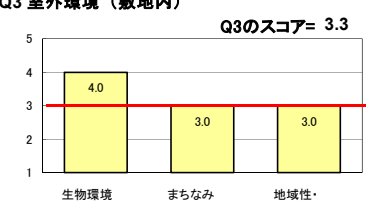
#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4



#### Q3 室外環境(敷地内)

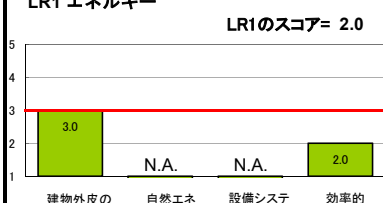
Q3のスコア = 3.3



**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 2.9

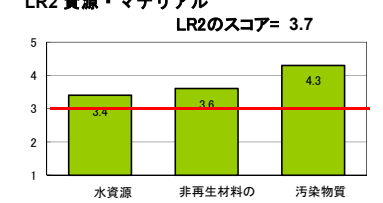
#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.0



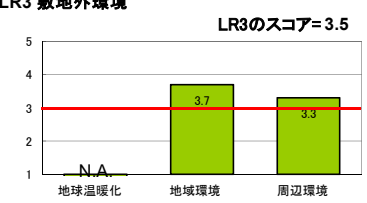
#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.7



#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.5



3 重点項目	
<h4>①地球温暖化への配慮</h4> <p style="font-size: 2em; color: green; text-align: center;">N.A</p>	<h4>③敷地内の緑化</h4> <p style="font-size: 2em; color: green; text-align: center;">4.0</p> <p>外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)</p> <p style="text-align: center; font-size: 1.2em;">19.2 %</p> <p>建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)</p> <p style="text-align: center; font-size: 1.2em;">0.0 %</p>
<h4>②資源の有効活用</h4> <p style="font-size: 2em; color: green; text-align: center;">3.4</p>	<h4>④地域材の活用</h4> <p style="font-size: 2em; color: green; text-align: center;">1.0</p> <p>&lt;外装材に使用した地域性のある材料&gt;</p> <p>なし</p> <p>&lt;建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材&gt;</p> <p>なし</p>

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。


①地球温暖化への配慮  
 LR-3 1 地球温暖化への配慮

②資源の有効活用  
 Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性  
 LR-2 2 非再生性資源の使用量削減

③敷地内の緑化  
 Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 =  $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)を除いた}} \times 100$

建物緑化指数 =  $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建物によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$







**重点項目スコアシート**

実施設計段階

■使用評価マニュアル

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

武豊火力発電所5号機 土工工事(予備品・資材倉庫)

■評価ソフト:

CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)\_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
<b>① 地球温暖化対策</b>				<b>N. A</b>
LR3-1	地球温暖化への配慮	0.0	0.00	
<b>② 資源の有効活用</b>				<b>3.4</b>
Q2-2	耐震性・信頼性	3.2	0.22	
Q2-3	対応性・更新性	3.6	0.21	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	3.6	0.19	
<b>③ 敷地内の緑化</b>				<b>4.0</b>
Q3-1	生物環境の保全と創出	4.0	0.17	外構緑化:19.2%/建物緑化:0%
<b>④ 地域材の活用</b>			(評価ポイント)	<b>1.0</b>
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

## ■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 武豊火力発電所5号機 土

計画上の配慮事項	
総合	今回計画建物が外部環境に与える影響をできるだけ抑え、既存緑地の保護と新設緑地による敷地全体の緑化に努める。
Q1 室内環境	評価対象外
Q2 サービス性能	十分な階高設定とし、空間のゆとりを確保する。
Q3 室外環境(敷地内)	環境アセスを実施し、生物の環境保全に努める。
LR1 エネルギー	照明器具は省エネルギー性に配慮し、LED照明器具を採用する。
LR2 資源・マテリアル	有害物質を含まない材料使用を採用し、リサイクル材等を積極的に採用する。
LR3 敷地外環境	光害を発生するような照明・サインなどを設置しない。
その他	<p>計画建物の位置については、敷地内の住宅地側(西側より))位置的に反対側の距離のある位置としている。</p> <p>又、建設工事において、廃棄物の分別とリサイクルを積極的に行う。</p> <p>※省エネ適判は対象外のため、本計算に反映しません。</p>